



平成 22 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社  
 代表者の役職名 取 締 役 社 長 石 黒 文 博  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7 )  
 問い合わせ先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 篠 塚 幸 治  
 電 話 番 号 ( 0 3 ) 3 6 6 7 - 5 2 1 1 ( 代 表 )

平成 23 年 3 月期第 1 四半期連結業績見通し並びに特別利益及び特別損失の  
 計上に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 1 四半期会計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前期実績と比較して差異が生じる見込みですので下記のとおりお知らせいたします。また、当第 1 四半期において特別利益及び特別損失の計上が生じる見込みですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績速報値及び業績の差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成 22 年 3 月期第 1 四半期) (A)	1,088	△234	△229	△123
当第 1 四半期実績見込み (平成 23 年 3 月期第 1 四半期) (B)	1,465	158	159	68
増 減 額 (B—A)	377	392	389	192
増 減 率 (%)	34.7	—	—	—
(参考) 平成 22 年 3 月期実績	4,683	△436	△431	△270

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）の連結業績は、欧州のギリシャ財政危機等による金融不安、信用不安を契機にして、貴金属市場、特に金市場に、また為替市場に投資資金が流動し、相場が大きく変動したこと等を背景により、受取手数料では外国為替証拠金取引等が好調に推移し、また売買損益では商品先物取引が堅調であったことから、営業収益は前年同期比 34.7%増収の 1,465 百万円を計上する見込みであります。これにより、営業利益は 158 百万円(前年同期は 234 百万円の営業損失)、経常利益は 159 百万円(前年同期は 229 百万円の経常損失)、四半期純利益は 68 百万円(前年同期は 123 百万円の四半期純損失)をそれぞれ計上する見込みです。

3. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 特別利益

下記(2)特別損失 1. に関連して商品先物取引事故の解決に伴い、商品取引責任準備金の戻入額 102 百万円を計上する見込みです。

(2) 特別損失

- 商品先物取引の受託取引に係る訴訟が結審して、当社の負担額が確定したため訴訟関連損失 102 百万円を計上する見込みです。なお、上記(1)に記載のとおり特別利益に同額を商品取引責任準備金戻入額として計上する見込みです。
- 「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日）の適用に伴い、当社支店の店舗賃貸借契約に基づき支出している敷金について、賃貸借契約終了後の原状回復義務に係る費用の見積額として、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 25 百万円を計上する見込みです。

以 上